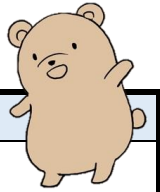


【社会】



■ 1週間の間に次のことをやってみよう。

〈勉強すること〉

- (1) 教科書P148・149を読んで地形図を読み取ろう。
- (2) 教科書P150・151を読んで世界から見た日本の気候の特色を調べよう。
- (3) 教科書P152～155を読んで自然環境の特色や防災への具体的な取組について調べよう。

〈取り組み方について〉

(1) について

- ① 教科書P148・149の地形図を見ながら、地形図の種類や縮尺、方位を確認しよう。また、地形図に表されている等高線や地図記号を確認しよう。
- ② 教科書P148・149のワークに取組みましょう。

(2) について

- ① 教科書P150資料①～④温帯の三つの気候区の分布や雨温図、景観写真を比べ、似ているところと違うところを、取組シートにまとめましょう。
- ② 季節風や梅雨、台風が、それぞれ人々の生活に与える影響について、取組シートにまとめましょう。
- ③ 教科書P151資料⑤～⑨の雨温図や分布図などを参考に比較し、日本の気候区分について、その特色を取組シートにまとめましょう。
- ④ 熱帯の密林、乾燥帯の砂漠、寒帯の極寒地域に住む人が、6月に東京へ来たら、それぞれどのような感想をもつと思うか、理由もふくめて取組シートに書きましょう。

(3) について

- ① 教科書P152資料①～④を見て、どのような自然災害が日本で起こっているのかを確認しよう。
- ② 教科書P153を参考に、防災への具体的な取組について、取組シートにまとめましょう。
- ③ 自分の住んでいる地域で起こる可能性がある災害を1つ挙げ、どのような防災対策が必要か考えたことを取組シートに書きましょう。
- ④ 教科書P154・155を参考に、地震の原因と津波が起こる仕組みを確認しましょう。
- ⑤ 帯広市のホームページなどを参考に、帯広市の防災・減災の取組を調べてみましょう。

〈学習のヒント〉

- 教科書に出てくる太字の用語は学習を進めるときの大切なキーワードになります。教科書P288～の「用語解説」のページなどを参考に、必ず意味や場所などを確認しましょう。
- 教科書だけではなく、地図帳やある場合は資料集も活用しながら学習を進めましょう。
- インターネットなどを活用した問題練習に取り組みたい場合は、帝国書院 Web ページ「臨時休校期間中における学習支援コンテンツのご案内」が参考になります。

出典：【 https://www.teikokushoin.co.jp/textbook/junior/2020_home_study/index.html 】